

# 都市再生まちづくり事業

再開発事業のコーディネート、都市再生プロジェクトの調査・計画策定、公民協働型まちづくり事業の企画・運営に取り組んでいます。

## 札幌都心部 都市再生支援事業

- 都心まちづくり計画の見直しに係る基礎調査 (H25年度)
- 創成川以東地区まちづくり計画策定支援業務 (H25年度)

平成14年に札幌市にて策定された「都心まちづくり計画」を継承し、『人』『創造』『環境』をテーマにした、新たな時代に相応しい都心のまちづくりの戦略の構築に向け、今後の都心像の方向性やまちづくりの推進方策等について、学識者・専門家からなる「都心まちづくり戦略会議」の運営とコーディネートを通じて基本的方向性を導き、次年度の戦略策定に向けた基本用件の整理を行いました。



新たな都心構造の概念図

- 道庁東地区におけるパブリックスペースの空間デザイン・活用コーディネート (H25年度～継続)

札幌都心の都市再生を先導する「都市再生緊急整備地域」の一部、『都市再生特別地区；道庁東地区』において、民間再開発プロジェクトと、都市計画公園の一体的整備が行われ、「三井JP札幌ビルディング」と「北3条広場」が生まれました。

札幌都心の新たな広場、さらに隣接する民間施設内のパブリックスペースにおいて、札幌の魅力創造・発信するための空間デザインと活用のあり方の具体化に向けた関係事業者・有識者・自治体・札幌駅前通まちづくり会社等の関係主体間の協議をコーディネートするとともに、空間活用の基本ルールとなる指針の取りまとめを行いました。

さらに、都心の公共空間を活用した新たな魅力創造に資する持続的・発展的取組を進めるべく札幌駅前通まちづくり会社との連携を進めています。

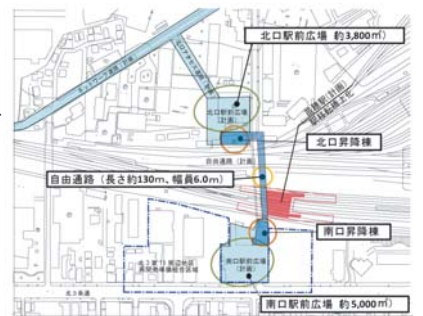


## 地域のまちづくり支援事業

- 苗穂駅周辺コーディネート業務 (H25年度)

苗穂駅周辺地区では、平成3年より今日まで、地域住民と地元企業からなる「苗穂駅周辺まちづくり協議会」を中心としたまちづくりが進められています。平成24年度には、地域の念願であった、新苗穂駅の移転・橋上化が都市計画決定されました。これを受け、苗穂地区の特性に応じた街並み形成を図るため、新苗穂南北駅前広場、自由通路及び昇降棟と再開発事業で整備予定の公開空地について地域と行政が連携し検討を行い、「デザインの方向性」として取りまとめました。

弊社はその全体のコーディネート、ワークショップの企画運営等に加え、まちづくり協議会のアドバイザーとしても、今日まで継続的な支援を行っています。



## 札幌市創成東地区 再開発コーディネート事業

- 北4東6周辺地区再開発コーディネート業務 (H16年度～継続)

北4東6周辺地区は、国の都市再生プロジェクト第4次決定に選定された札幌市の都市再生を先導する『特定都市再生緊急整備地域』の一部を担う8.4ヘクタールのエリアです。

当該地区における市街地再開発事業の具体化に向け、権利者を中心に平成26年度に新たに設立された『北4東6周辺地区再開発準備組合』の支援・コーディネート、開発計画・事業計画の検討、及び個別権利者協議を推進しています。



地区の現況写真

- 苗穂駅南地区再開発準備組合コーディネート業務 (H17年度～継続中)

札幌都心部より約2kmに位置する苗穂駅周辺地区では、平成14年に策定された『苗穂駅周辺地区まちづくりガイドライン』を契機として、JR苗穂駅の移転・橋上化を目指した住民・企業・行政の協働によるまちづくりが展開されています。

駅移転が想定される苗穂駅南地区における駅整備と連携した市街地再開発を通じた「まちづくりの核」の実現に向け、地元権利者からなる「苗穂駅南地区再開発準備組合」の事務局として開発計画検討、権利者・行政等の関係主体協議を進めています。



地区の現況写真

## 地方都市のプロジェクトマネジメント事業

### 中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョン (H22年度)

『中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョン』は、岩見沢市中心市街地の中核的商業施設であったボルタビル（現：であえる岩見沢）の再生を図りつつ、中心市街地の活性化を更に推進するための計画です。

本業務は、岩見沢市の中心市街地の中でも商業業務機能が集積する地区において、市民や来街者の回遊性を高め、活性化を図ることを目的としています。

具体的には、ボルタビルをまちづくりや活性化の核としながら、再生した複合駅舎や生涯学習センターとの有機的な連携を図りつつ、拠点形成や街歩きやすさや新たな魅力を発見できる場の形成などにより中心市街地の活性化の方向性について整理しています。

